2013
10.19(SAT)

WATARI BALLOON FESTIVAL ニュースレター

熱気球フェスティバル
空からみつけようわたりの未来

06:30-09:00　熱気球体験搭乗
08:30-12:00　収穫祭
14:30-16:30　ステージ
17:00-18:00　バルーンイリュージョン

※開催予定でした 20 日は悪天候のために中止とさせていただきました。

実行委員：15名
当日ボランティア：72名
参加者数：約700名（前年度600名）
（昼 約500名 / 夜 約200名）
熱気球（4機）搭乗者数：約300名
ステージ出演：3組

飲食ブース：名物はらこめし、豚汁、
町内商店による出店・物産直売
記録ブース：カメラ貸し出し、苗木作りブース
参加者による絵などの作品づくり

空からみつけようわたりの未来

今回の熱気球フェスティバルは特定非営利活動法人 熱気球運営機構の協力により、『東日本大震災復興支援熱気球イベント第 8 回「空を見上げて」in 亘理』とのコラボレーションとして実施いたしました。日が昇ってくると、沢山の子供たちが我先にと走って会場に来てくれました。肌寒い中、わくわくした表情で順番を待つ長い列。天気にも恵まれ、今年は約300 人の方に搭乗していただくことができました。

まだ 7 時前ですがすでに沢山の方が並んでいます

急がないと乗れなくなっちゃう〜！と
子供達が走って会場へ集まってきました

熱気球搭乗準備の様子

ピエロのいちろうくんが駆けつけて、
みんなに風船を配ってくれました

いよいよ搭乗直前！わくわくです！

意外にアクロバティックな乗り方

熱気球にのって上をみると ...

上空約20mまで上昇。天気は快晴で最高の熱気球日和でした。

熱気球からみた亘理町 (海側)

今年は熱気球を 4 機あげることができました。奥から、熱気球運営機構の「ワンダーグローブ号」バルーングループ風まかせの「キュー丸」、長野県佐久市から鯉のシェイプトバルーン「佐久の鯉太郎」、ジャパンバルーンクラブの「Air-B2 号」です。熱気球の上から見つめる亘理町は、私たちが思うよりも広大で美しいものでした。熱気球から降りてくる皆さんの顔は笑顔であふれていました。

空から帰って来たら

出店ブース

豚汁、トマトスープ、玉こんにゃく等の温かい食べ物や、亘理名物はらこめしに、りんごなどの飲食ブースと、カメラ貸し出しを行った記録ブース、わたりグリーンベルトプロジェクトを知ってもらう展示ブース、未来の防潮林を作る苗木作り体験ブースなど多数のブースがありました。

出店では美味しい豚汁も

ピエロのいちろうくんに
もらった風船で遊ぶ子供たち

カメラの貸し出しも行いました

ミライへポスト

熱気球に乗った感想は？みんなもくもくと絵を描いています

熱気球に乗り、空から見えたものや、感じた事、一緒にいる家族の笑顔。当日、参加したみなさんに書いてもらいました。
それを投函してもらったのが「ミライへポスト」です。目にした空からの風景や、会場の様子。それを、それぞれの目線からみつめ、残しておく事が沿岸部復興の軌跡の一部となり、未来の亘理を考える上で貴重なものになると考えました。
将来、亘理の担い手になる子供たちが、嬉しそうに笑顔でポストに投函する様子に胸が熱くなりました。

描いた絵をミライへポストに投函！

収穫祭(08:30–12:00)

実行委員が開催までに畑で白菜や枝豆、カボチャなどを育てました。「熱気球から昨年とは違う風景を見てほしい」との願いと、「収穫するという体験から自然豊かな亘理を感じてほしい」との想いから収穫祭を実施しました。当日は子供たちが大喜びで収穫を体験しました。

元気に育ったお野菜。実行委員の愛情がこもってます！

ステージ(14:30–16:30)

My Piano さんによるライブの様子

ステージでは、My Piano さん、永井建さん、ウーミンさんの 3 組の歌手の皆様にライブを行っていただきました。屋外にもかかわらず大変迫力のあるステージに観客の皆さんも圧倒され、思い思いに音楽に浸る、素敵な時間が流れました。

17:00-18:00

BALLOON ILLUDION

17時からはバルーンイリュージョンを開催しました。朝の熱気球搭乗の様子などをスクリーンに映しだし、足元には実行委員手作りのキャンドルを置いて幻想的な空間を作りました。音楽に合わせて光る熱気球のライトアップを初めてみた参加者からは「わー！」と歓声が。花火とは違う明かりが、参加した皆さんの心を温める時間になって欲しいと願いながら実施しました。

音楽に合わせて４つの熱気球がリズミカルに点灯する様はとても綺麗でした

熱気球に搭乗した方の感想

・また感動を味わいたいし、亘理の復興を祈りたい。
・亘理が復興するきっかけになってほしい
・感動です！！思っていたよりも高くて揺れも少なくてよかったです！
・亘理の復興はまだまだだな、と思った。
・みんなが興味をもって亘理の今をしってほしい
・震災後初めて自分の住んでいる町を上から見る事ができ、感動しました
・娘と 2 人で初めて体験しました。少し風は強かったですが熱気球のバーナーのあたたかさと海、町並み、防風林、いろいろと感じる事ができて良かったです。
・思った以上に海まで遠く見渡せました。私たちにできる事は少ないですが、何か支援に参加できればと思います

当日実施した参加者へのアンケートで約８割の方が「フェスティバルが亘理町の未来を考えるために必要だ」と答えました（アンケート回答者９５名）

熱気球フェス企画スタッフの感想

世代を超えて 1 つの事をやり遂げられた事が嬉しい。昨年は天候不良などで気球に乗れなかった友人が今年は乗ることができて喜んでくれた。自分の中の悔しさが当日晴れた。開催してよかった。仕事ではなくボランティアとして開催できたことは誇りである。
(30 代男性 / 亘理町)

熱気球にも乗ることができて貴重な体験となりました。上から被災地を見て、震災直後よりはきれいになりましたが復興はこれからなんだな、と自分の目で確かめる事が出来ました。亘理の復興のためにこれからできる限りプロジェクトに参加していきたいです。
(20 代女性 / 亘理町)

大変な部分もありましたが、収穫祭を担当して子供たちが自分の手で白菜を収穫するのを見たらとても嬉しくなりました。
(30 代男性 / 亘理町)

スタッフ一同とても疲れた。しかし、ナイトバルーンでは涙を流した人もいて、お客さんの笑顔もたくさん見られた。感動した。
(60 代男性 / 亘理町)

スタッフが分散してしまって、人数が昨年より 2 倍も 3 倍も足りなかった事がさびしかった。けれどお祭りの日はみんなの笑顔が嬉しくて、熱気球より飛び跳ねました。開催してよかったです。
(60 代女性 / 亘理町)

荒浜の灯籠流しで試用したペットボトルを再利用して
全部で 500 個のキャンドルを作りました

参加者募集！

わたりグリーンベルトプロジェクトでは、熱気球フェスの他様々なまちづくりプロジェクトを行っております。活動に少しでも参加してくださる方がいらっしゃいましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

詳しい活動内容はホームページに掲載しております。
興味のある方はぜひご覧ください。QRコードからもアクセスできます。

わたりグリーンベルトプロジェクト事務局
電話番号（FAX 兼用）：0223-35-7735
メールアドレス：info@watari-grb.org
ホームページ：http://www.watari-grb.org/

ご支援・ご協力くださいました皆様

共催

熱気球フェスティバル運営委員会
特定非営利活動法人熱気球運営機構
一般社団法人ふらっとーほく

後援

宮城県亘理町
宮城県亘理町教育委員会
一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク
ＦＭあおぞら
吉田東部地区まちづくり協議会

協力

鳥の海ふれあい市場
亘理町荒浜地区まちづくり協議会
亘理町西部地区まちづくり協議会
亘理町大畑地区
亘理町立長瀞小学校
株式会社渡辺工務店
有限会社大友園芸
東京海上日動火災保険株式会社
佐久バルーンクラブ
バルーンクラブＵ２
百里バルーンクラブ
バルーングループ風まかせ
那珂川バルーンクラブ
ワンダーグローブプロジェクト
ジャパンバルーンクラブ
内藤邦裕氏（気象予報士）

協賛

株式会社アサヒビルメンテナンス
株式会社紅中
積水フィルム株式会社
株式会社ケーヒンワタリ
セキスイハイム東北株式会社
株式会社 阿部工務店

阿部春建設株式会社
株式会社岩佐組
株式会社太田工務店
株式会社国井印刷
株式会社クロサキ自動車
株式会社斎藤工務店
株式会社馬上かまぼこ
丸一呉服店
丸子酒店
みやぎのあられ株式会社
有限会社伊藤生花園
有限会社千葉工務店
有限会社トムソーヤ
ピッツァレストラン
有限会社ファミリーショップマツダ
有限会社マルワタクシー
有限会社横田商店
亘理ライオンズクラブ
亘理郡金融団
株式会社丸福山田屋
菊池石材工業株式会社
興信管工業株式会社
化粧品の店かくちょう
佐藤製線販売株式会社
せとや
つくしの会
中正旅館
ハヤセエクステリア
ホンダカーズ亘理

物品協賛

株式会社ニコン
ライオン株式会社

寄付（五十音順）

アクアショップわたり
アグリいちご
いちご整骨院
医療法人社団わかさ会
南八街病院
うた蔵ぶ
結城組株式会社
熊谷内科医院
株式会社コムロ
大雄寺
高橋鮮魚店
株式会社竹内農機商会
武田薬品工業株式会社
長徳寺
ブロッサム遊花
満昌寺
株式会社三井住友銀行
株式会社未来や書店
みやぎ生活協同組合　亘理店
宮城第一信用金庫亘理支店
みやぎ亘理農業協同組合
ヤマザキショップ亘理鈴武店
株式会社山田屋
ロータス石川自動車
渡辺商店
ワタヨシコーポレーション
亘理保育所
亘理山元商工会

その他、個人 119 名の皆様からご協力をいただきました。（クラウドファンディング含む）
また、当日は 72 名の方々にボランティアとしてご協力いただきました。実行委員一同、心よりお礼申し上げます。(2013 年 11 月 15 日現在)

収支報告

平成 25 年 11 月 28 日現在

収入	5,243（千円）
内訳	
町内外協賛・寄付金	
Ready for?（クラウドファンディング）	
募金箱・昨年残額等	

支出	4,750（千円）
内訳	（千円）
熱気球運営費	2,500
会場整備及び機材	686
資料作成費	189
交通費	356
経費	814
傷害保険料	53
事務・その他費用	152

※2013 年 11 月 26 日現在
※支払い時期の都合上、支出金額において
今後多少の前後が生じる可能性がございます

メディア掲載実績 (掲載日順)

河北新報社	9 月 21 日
産経ニュースＷＥＢ	9 月 26 日
信濃毎日新聞	9 月 26 日
新潟日報	9 月 26 日
岐阜新聞	10 月 2 日
東京新聞	10 月 7 日
読売新聞	10 月 11 日
ＮＨＫ仙台放送局	10 月 19 日
広報わたり	11 月号表紙
復興ボランティア支援センターやまがた「うぇるかむ」第 43 号	
関西ラジオ	10 月 2 日
FM あおぞら	随時

2013年 11 月 28 日発行 / 発行元：わたりグリーンベルトプロジェクト 熱気球フェスティバル運営委員会 / 所在地：〒989-2351 宮城県亘理郡亘理町上茨田 38 番 クリスタルコートカストル館 202/ メールアドレス：info@watari-grb.org / ホームページ：http://www.watari-grb.org / 編集・デザイン：安達日向子 / 文章：永沢舞 / 写真：安達日向子、木村奈美江、中原寛法